

『2011 年上半期（1月～6月）JVA統計調査』について

当協会は9月13日(火)午後1時30分より、協会会議室において『2011 年上半期（1月～6月）JVA統計調査結果』について記者発表会を開催しました。

以下に記者発表された報告の中から抜粋して2011 年上半期の統計調査結果についてご報告いたします。

なお、同調査の詳細な結果は『日本映像ソフト協会統計調査報告書 Vol.72』として冊子にまとめられ、一般の方にも有料にて頒布しております。

詳細については、広報課上田まで(03-3542-4433)、もしくは協会ホームページ「お問い合わせ」にアクセスしてください。

以上

2011 年上半期（1月～6月）の実績について

今期の統計から、UMD を調査の対象外とした。ビデオソフトの総売上についての前期比、前年同期比の算出の際には、当該期の UMD の実績を除いた数値を用いている。

DVD とブルーレイのコンボ作品についてはブルーレイにカウントしている。

1. 今期のビデオソフトの総売上金額は 1,256 億 4,000 万円で前年同期比 105.3%となり、上半期としては5年ぶりに前年同期を上回ることとなった。

そのうち、DVD ビデオの売上金額は 1,012 億 3,500 万円で前年同期比 99.5%と前年同期をわずかに下回ったが、ブルーレイは 244 億 500 万円で同 138.3%と拡大傾向が続いており、ブルーレイの伸長が総売上金額の前年同期越えに貢献することとなった。総売上金額に占める DVD ビデオ、ブルーレイの割合は、80.6 : 19.4 となり、ブルーレイの構成比が2割近くとなった。

2. ビデオソフトの総売上数量は、3,991 万 2,960 枚で前年同期比 102.4%となり、2009 年下半期以降4期連続で拡大傾向が続いている。DVD ビデオが 3,433 万 3,642 枚で前年同期比 99.6%、ブルーレイが 557 万 9,318 枚で同 123.3%となった。総売上数量に占める DVD ビデオとブルーレイの割合は、86.0 : 14.0 となっており、金額の割合に比べるとブルーレイの構成比は低くなっている。

3．ビデオソフト全体（DVD ビデオとブルーレイの合計）の流通チャネル別売上をしてみると、販売用が 865 億 4,300 万円で前年同期比 104.6%、レンタル店用が 384 億 2,300 万円で同 106.4%となり、両市場とも前年同期を上回ることとなった。

DVD ビデオの販売用金額は、633 億 300 万円で前年同期比 96.4%と前年同期を割り込んだのに対し、ブルーレイが 232 億 4,000 万円で同 136.5%と伸長し、販売用の総売上金額の上昇に貢献した。DVD ビデオとブルーレイの金額における構成比は、73.1：26.9 となった。

またレンタル店用においては、DVD ビデオが 372 億 7,800 万円で同 104.9%、ブルーレイが 11 億 4,500 万円で同 199.8%と伸長した。レンタル店用総売上金額における DVD ビデオとブルーレイの構成比は 97.0：3.0 と圧倒的に DVD ビデオが占めており、DVD ビデオの伸長がレンタル店用総売上上の拡大につながった。

4．ビデオソフト全体（DVD ビデオとブルーレイの合計）の販売用の売上金額をジャンル別にみても、前年同期同様に構成比 1 位は『日本のアニメーション（一般向け）』（構成比 29.5%）で前年同期比 103.7%、2 位に『音楽（邦楽）』（同 25.8%）前年同期比 130.5%、3 位に『洋画』（同 9.8%）前年同期比 63.4%、4 位に『邦画』（同 7.7%）前年同期比 95.5%となった。3 位の『洋画』の落ち込みが大きいのが、前年同期に『THIS IS IT』や『アバター』といったビッグタイトルがリリースされたこともあり、大きく前年同期を割り込むこととなったと見られる。またその他のジャンルにおいても前年同期を下回るジャンルも多くみられ、販売用市場全体の上昇は構成比 2 位の『邦楽』の著しい伸長が支えたと言える。

各ジャンルごとの売上金額におけるブルーレイの構成比では、『日本のアニメーション（一般向け）』で 55.9%となり、過半を占めることとなった。『洋画』では 39.8%となったが、『音楽（邦楽）』ではまだ 10.1%に留まっている。

5．ビデオソフト全体（DVD ビデオとブルーレイの合計）のレンタル店用の売上金額をジャンル別にみても、構成比 1 位は『洋画』で 18.8%、2 位が『日本のアニメーション（一般向け）』で 18.3%、3 位が『邦画』で 18.1%、4 位が『海外の TV ドラマ』で 13.9%となっており、1 位から 3 位の構成比はほぼ同列で並んでいる。一方、前年同期比では『洋画』が 84.4%と前年同期を下回ったが、『日本のアニメーション（一般向け）』が 121.1%、『邦画』が 127.9%、『海外の TV ドラマ』が 116.8%となり、『洋画』以外の主だったジャンルで前年同期を上回る傾向となった。

前述のとおり、レンタル市場の売上金額全体に占めるブルーレイの割合は 3.0%と小さいが、そういった中で『洋画』のジャンルではブルーレイが 10.9%を占めており比較的高くなっている。

以上